

露味噌 露の臺をゆで播盆にて摺り酒粕一合に赤味噌すこし割り胡桃を炒りて皮を去りたるを摺り交せるなり但蕃椒をすこし加ふるもよし。

常盤味噌 之を製するにはよき赤味噌を播盆にて摺り篩籠にて濾したるものに抽子の實いりのよきを肉を去り皮を日に乾かしたるを椎茸などおの／＼水に浸し細く刻み味噌を加へ煮て冷まし胡桃を炒りて皮を去り或は山葵を短冊に切りたるなどを入るゝなり。

時雨味噌 蛤のむき身を空熬りにして水氣を去り味噌と醬油をさして汁氣のなき様に煮つけ赤味噌を加へ遠火にかけて徐々に煮つめ割山椒をふりかくるなり。

小鳥ほろ味噌 鳩雉その外小鳥の肉骨とも細かに敲き味噌を摺りませ酒を加へ緩めて火に掛けて煎り着かぬやうに揆き回しながら三時間程煮るなり山椒の粉胡麻など入れてするなりさて練り上げてほろ／＼となりたるを壺などに入れて貯ふ之は久しきを経るも食味變ずることなし。

鴨味噌 肉を細かに敲き味噌にて煎り着くほどにして味噌を裏越しにかけたるを加へて練りながら煮詰めるなり。

柚びしほ 味噌三百目に砂糖を百目とし摺り合せて味噌五合を加へこれに柚子三十か四十の皮を取り刻みて蝶でたるを入れ温火にて練り交せなほ黑豆を柔に煮て醬油にて味をつけ前條の味噌に交せるなり。

菊びしほ 黄ぎくの花の臺を去り熱湯をかけ鹽おしにつけ水のあがりたる後麴を加へ赤く色づきたる蕃椒を細かにきりていれよく掻き交せ軽く壓石をしておくなり、扱我等人體に要する成分の内蛋白質は其主なるものなり而して洋人は之を肉食にとり國人は之を主として味噌よりとるされば益々之が改良を計り其滋養成分を増加し又違ひなどを少なくする事は閑過すべからざる事なり殊に女子は家庭にありて料理に従事するものなれば日々使用する味噌を只無意味に用ふることなく學理と實際とを照し合せてます／＼改良して善良なる品質のものを作る事は我等女子の大なる務なりと感ずる所なり。

所 感

技藝科四年

澤

き

よ

先程から先生がたの有益な御話や會員の方々の充分に研究を御つみになつた面白い御話が澤山に御座いましたがその後に出た私のは極々つまらないので唯自分の所感を一寸のべやうと存じますしかし所感といへば大變立派なやうで御座いますけれども實は「失敗の自白」とでも申し上げた方が適當かも知れません。

丁度昨年十一月七日から教生といふ一寸えらいやうな又何だか馬鹿にされそうな肩書を頂戴して、いさんでと申し上げたいが實はビク／＼もので高等女學校に實地練習に参りまして、眞赤な顔

をして胸をドキつかせながら針の山にでも登るやうな思で教壇への初のぼりをしてから十二月十七日まで丁度六週間、此の間に自分の力が足りなくつて困つた事はいくらもありましたが最も困難に感じましたのは家事科で御座いました、それで自分はこの科のために一生懸命力を盡して調べて参りましたがなかく、失敗の多いことで御座いました、が又一方に大にさとする所も御座いました、なほこのやうに六ヶ敷家事の教授を諸先生御指導のもとに練習することのできました我々身の幸福を喜んで居る次第で御座います、で今日はこの私の困りさ加減を一二の實例をあげて御紹介いたしませう。

看護法の所で中毒を教へます時分に「烏頭」だとか又「檜」などの例が出て居ます(教科書に)、所が自分は烏頭は兎菊の根にあるもので毒なものだ、檜は佛花である、位は知つて居ますがこのやうな曖昧な知識ではとても教壇に立つことはできません、それで植物の本でも見れば少しはわかるだらうと存じまして心當りの本を開いて見ましたが生憎な事には兎菊は何科の植物やら、檜は何科に屬して居るやらさつぱり存じません、それ故自分で調べて居てはとも間に合ひそうにも御座いません、遂に植物室に走つて行つて保井先生に御尋ねして初めて檜には「シキミニン」といふ毒素を持つて居ること、烏頭は馬鈴薯などに類似せる外形を有して居るから稀にこれらの食品に混じて人が中毒する場合がある、などといふことを丁寧に御教へ戴きました、この場合には大に

植物の智識が必要だと感じたので御座います。

其の他病氣の経過だとか傳染の経路なども書物には上皮一通りしか書いてないのが多く御座いますから本だけによつてはとても生徒に話すことはできませんので醫局などへもよく色々の實際話を伺ひに参りました事は幾度ともわかりませんが、一寸考へますと何かわからない事が御座いましたも閲覧室へ行つて棚にギッシリとならんで居る参考書を彼れ此れとあされば調べがつきそうに思はれますけれども、私の経験(極めて僅かではありますが)によりますと決して決してそうでは御座いけませんで家事を教へるのにはどうしても各方面の専門家、實際家について聞かなければ確かな智識は得られません、また殊に書物によつては少し前にできたので御座いますと當今の學說の進歩に後れて居るものも御座います、例之へば現に女學校の教科書には傷口は三十倍の石炭酸で洗へとありましたが、實際御醫者に聞きましたらば石炭酸は創口を腐蝕させると云ふ事で二三年前から醫界では普通創口には硼酸水を用ひてよほど黴菌の侵入の恐ある時でなければ石炭酸は避けて居るとの事でした、もし此の場合に教科書のとほり教へて訂正致しませんでしたら思はぬ失敗をする所であつたがとひそかに喜んだことも御座いました。

次は自分が経験に乏しいために大變困つた事について申上げませう、それは傳染病の所で御座いました色が色の病について話しました、けれども自分は幸か不幸か一度も傳染病患者に接した事

が御座いません、それで白状すれば毎時間閲覧室で傳染病大意だとか赤十字社特志看護婦人會教程などを調べて行つては其うけ賣りをして居りました、處へ多くの生徒中には或は姉さんがマラリヤにかゝつたとか、弟が猩紅熱を病んだとかで其病狀を親しく見て知つて居るものがあつて實際の経過について私の話と異つて居る所があると色々の質問を致しますが此の先生前に申し上げましたやうな次第で實際を少しも知らないもので御座いますからこのやうな場合に何とも返事の仕様がありません「サアどうでせうね此の次までに御互に調べて見ませう」とか「ハァーそんな事もありませうかね私一向存じませんでしたそれがよいことを伺ひました」と却て生徒から教へられるといふ風で濟せて參りました後から考へると何だか罪でも犯して來たやうな氣が致しまして生徒に對して實にすまなかつたと感じたことも一二度御座いました、其の他大傷の時の血どめ法とか骨傷の際の手当などを教へますにも自分でこれ等の場合に出あつた事がないものですから兎角自信がなくなつて教壇に立つて居るものですから此の様な教材の時間には自信の缺けた態度であつたなどいふ御批評を戴きました、これも一二の例で御座いますが家事の教師は須らく日常鵜の目鷹の目で種々の方面により多くの經驗を得るやうに機會を目がけて居なければいけないと思ひ當りました。まだ、申上げたら限りが御座いせんが兎に角私が教へました所は家政の一部分の看護法の又その一部分の豫防消毒とか急救法とかいふ事で御座いました、それにこんなに苦しん

で居てどうしてこれで卒業してから家事の先生で御座るの何のと云つて社會に出られやうかと誠に耻しく思つて居ります。

僅かの間では御座いましたが初めて家事といふものを教へて感じましたことは家事を教へるには智識を他方面にからなければならぬこと（この中に一般普通の知識判断力なる常識の必要なことも含まれます）及び書物のみによらないで其の道々の人に活きた教を乞ふこと（これは宮川先生から常に伺つて居ることと御座いますが此頃ほと／＼思ひ當りました）今一つは日常起る種々の機會をにかさないやうに捕へて及ぶ限り萬事に經驗を豊富にすること等が最必要であらうと思ひました、しかし此等のことは口でいへば何でもないやうで御座いますが實行は中々むづかし御座います、でもその困難を押しつてやりとほすことは私どもの覺悟次第だと存じます、實は自分どものやうな學生々活からポット出の者が齊家の方法を説くなど、云ふことは少々無理な話ではないかとも考へますが今時分こんな寢言めいたことを云ふて居る時節では御座いせん、御互に家事科のために一生懸命働かなければなりません、喜んで全力を致して此の科の改進のために盡さうではありませんか。

ふつつかな自分の例を出して皆様にこんな轍を御踏みにならぬやうになど申上げるのは誠に失禮で御座いますが御互にゆく／＼は家事の教師として世の中に立つてゆくべき運命を持つて居るの

で御座いますから此のつまらない御話でも皆さまに轉ばぬ先の杖とまでは參らずともそのつゝの「つ」の字位にでもなりましたらば此の上もない幸と存じ上げます。

これはいつか物理の時間に先生に御伺ひいたしました事でございますがそれは先生の御知り合ひの方の坊ちやんで大塚の附屬小學校へ通つて居らつしやる方が學校で体格検査の時に体重を計るとき少しでも目方を増したいと思つてか顔の眞赤になるまでウンと力を入れたそうですその時の様子は量の上に立つて兩手をにぎつて口をへの字に結んできつと金時の様の顔であつただらうと思ひます然し子供の事ですからそれでよほど目方が増したと思つて居るでせうが可愛いでございますか。

北海道教育視察所感

部長 教授 小林 照 朗

(七月二十九日函館教育會に於て)

本篇は本會部長小林教授が昨夏北海道へ出張せられたる視察談中の一なり。亦以て本會々員諸氏の參考ともなりぬべしと信じ、こゝに之を載録する事となしぬ。

本日當區の教育會よりお招きにあづかりまして、有力なる教育家諸君と會して、一場のお話を

致す機會を齎しましたのは誠に光榮に存する次第でございます、何か學術上のお話を致さうかと考へましたが、過日來都合六回程、主として學術上の講演を致し、或は今日お出での方にも随分お聞きになつた方もあらうと思ひますので、あまり單調に流れはせぬかと心配されるのと、今一には、過日來の聴衆はその内に學生が混つて居るといふ關係から、私の北海道を視察して得たる感想も多少柔げて述べる必要があつたのでありますが、今日は吾々と同職に従事する教育家の御會合と承つたので、たとへ人數は少數であつても一粒選りの方であらうから、私の考も斯ういふ人に聽いて頂いたらば、御批評を承ることも得られやうといふ考から、俄に模様を替へて茲に一席の坐談として自分の本道教育に對する感想を申して諸君の御批評を求むることに致しました。諸君は常に教育に従事せられて居る御經驗より、北海道の教育に就いては色々の御感想があらるゝことゝ信じます、それで私は、この一句あまりの巡視によつて得た所感はこれを諸君に向つてお話するといふよりは、寧ろ御批評を仰ぐの適當なるを知るのであります。

私は極めて短時日の中に、北海道しかも其一部分のみを巡回致しましてその參觀したる所に就きこゝに壇上に立て意見を述べるは、或は分に過ぎたる次第かも知れませぬが、しかし諸君の如く毎日北海道の内に在つて、北海道の教育に従事して居らるゝ方には、チヨード三度々々の米の飯の味がわからぬ様にこの北海道の教育の特長は何かといふ様な問に對して……あまりよく判つ